

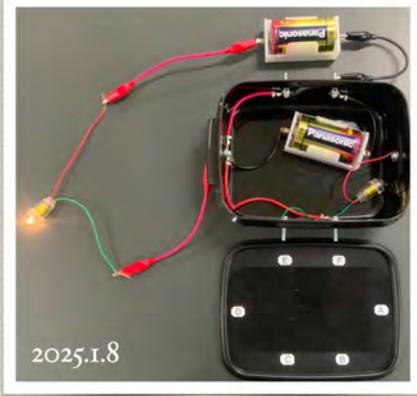
SCIENCE PARK

関西大学初等部中等部高等部 理科通信 2025年5月27日発行

昆虫館見学 (E3宿泊学習)

授業者: 孕石 泰孝

3年生の宿泊学習で、1日目に橿原昆虫館へ行きました。多くの標本、昆虫を見ることができましたが、中でもチョウの温室は、子どもたちにとっても人気でした。チョウも人に慣れているのか、オオゴマダラやアサギマダラなどが、肩や手に止まることもしばしば。とても近い距離で観察することができました。チョウが飛ぶ様子をiPadでスロー撮影した子は、チョウが羽を動かす様子を興奮気味に先生に見せていました。虫を苦手感じていた子もチョウに触れたり、多くの虫を見たりする中で、抵抗感が少し和らいだようでした。



『ブラックボックス』箱の中の配線は? (2024年度J2理科α)

授業者: 高本 杏紗

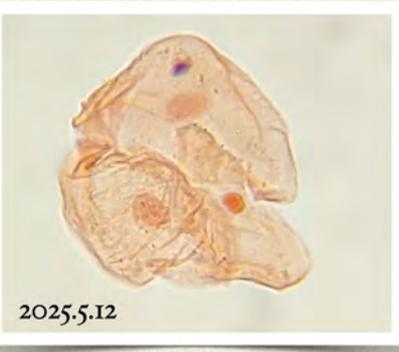
外に出ている端子に豆電球と電池を繋げて箱の中の配線を予想する実験を行いました。生徒たちは、これまでに学んだ知識をもとに、端子につなげた時の豆電球の明るさや電池を繋げる向きによって得られる結果から、箱の中の回路がどのようになっているのか予想を立てました。様々なパターンを繰り返すことで、思考力を高め、より深い学びへとつながりました。

ニンニクの根端の体細胞分裂の観察 (J3理科β)

授業者: 平野 あゆみ

生物の成長と細胞のふえ方に関する学習の中で、体細胞分裂の観察を行いました。ニンニクの根端を5%塩酸に浸け、酢酸オルセイン溶液で核と染色体を染色し、プレパラートを作りました。生徒たちは、顕微鏡で分裂途中の細胞を探し、見つけた細胞が細胞分裂のどの段階かを考察しました。

分裂途中の細胞を見つけられなかった場合であっても、その理由を考察し、学びを深めることができました。



ヒト口腔上皮粘膜細胞の観察 (S1生物基礎)

授業者: 福島 大樹

高等部で最初の生物実験である、細胞の観察を行いました。口腔上皮粘膜細胞を観察するため、コロナ禍では実施できませんでしたが、「自分自身」の細胞を観察することで、細胞を身近に感じ、今後の細胞小器官の学習を深める動機付けとなりました。生徒たちは、自分の細胞を観察して、この細胞の集合が「ヒト」として機能していることに驚きと感動を覚えていました。